２０１９年３月２２日
日本生命保険相互会社

新商品 ニッセイ みらいのカタチ NEWin1（ニューインワン）入院総合保険 の発売について

日本生命保険相互会社（社長：清水博、以下「当社」）は、２０１９年４月２日から、「ニッセイみらいのカタチ」の「総合医療保険」を刷新した、「入院総合保険“ＮＥＷ　ｉｎ　１（ニューインワン）”」を発売します。

当商品は従来の『日額方式』ではなく『一時金方式』で入院給付金を支払う、新しいタイプの入院保険です。日帰り入院からまとまった金額の『一時金』をお受取りいただくことで、入院中の費用だけでなく、入院前後の通院・入院準備費等をカバーすることができます。また、入院を伴わない手術（外来手術）や先進医療[*1]も保障します。

新たに「入院総合保険“ＮＥＷ　ｉｎ　１”」をラインアップに加え、さらに進化した「ニッセイみらいのカタチ」で、これからもお客様の生き方にぴったり寄添う保障の提供に努めてまいります。

NEWin1（ニューインワン）入院総合保険 の主なポイント

1 日帰り入院から入院給付金を一時金で受取れます！

2 先進医療保障[*1]については先進医療にかかる技術料に加え、交通費・宿泊費等、自由に使える一時金を受取れます！

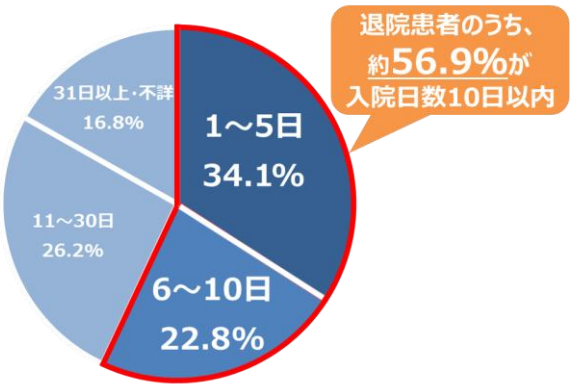
『NEW in 1（ニューインワン）』という販売愛称には、
「一時金（1）で受取れる、新しい（NEW）入院（NEW in）保険」という意味を込めています。

*1 先進医療給付あり型の場合

1 開発の背景

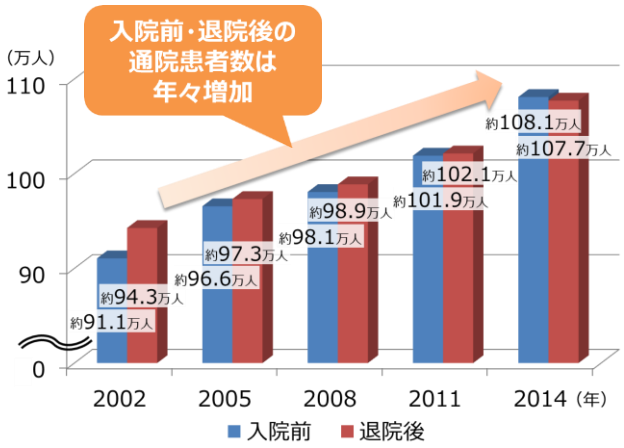
医療技術の進歩等により入院日数は短期化傾向にあり、退院患者のうち約６割の方が１０日以内に退院しています。一方で、入院前後の通院患者数は増加しています。

退院患者の在院日数



【出典】厚生労働省「平成 26 年（2014）患者調査の概況」

入院前後の通院患者数



【出典】厚生労働省「平成 14 年（2002）～26 年（2014）患者調査」

入院・手術等に加え、入院準備や入院前後の通院等に費用がかかることから、短期入院でも自己負担額は高額になる可能性があります。

入院に関わる自己負担額*2

	入院・手術等		通院等		合計
男性	約18.7万円	＋	約9.9万円	＝	約28.6万円
女性	約17.9万円	＋	約7.7万円	＝	約25.6万円

*2 入院１回当たり（入院日数：男性 14 日、女性 13 日とした場合）。食事代、差額ベッド代を含む。高額療養費制度を利用した場合は、利用後の金額。
【出典】『入院・手術等』＜入院・手術にかかる費用＞厚生労働省「平成 28 年 社会医療診療行為別統計」 厚生労働省「平成 26 年（2014）患者調査の概況」
＜差額ベッド代＞１日あたりの差額ベッド代 6,144 円×退院患者の在院日数で計算
（差額ベッド代:厚生労働省「中央社会保険医療協議会総会（第 370 回）資料 主な選定療養に係る報告状況」）
＜食事代（標準負担額）＞１日あたりの食事代 1,380 円（一般所得者／一般病床等の場合）×退院患者の在院日数で計算
（食事代（標準負担額）:2019 年度の公的医療保険制度に基づいて計算）
『通院等』日本生命調べ 2018 年度「インターネットアンケート」の調査結果から計算

また、近年受療者が増えている先進医療は公的医療保険制度の保険給付対象外であることから、自己負担額が数百万円になる場合もあります。さらに、重粒子線治療等の一部の先進医療は実施する医療機関が限られており、高額な技術料に加え、交通費や宿泊費の負担が必要となる可能性があります。

先進医療にかかる費用

多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術（白内障の手術）	陽子線治療（がんの治療）	重粒子線治療（がんの治療）
約58万円	約277万円	約315万円

ご自宅から離れた医療機関を受診すると、技術料に加えて**交通費・宿泊費等**がかかることもあります

【出典】厚生労働省「中央社会保険医療協議会総会（第 384 回）（平成 29 年 6 月 30 日時点における先進医療 A に係る費用）」

このような背景から、入院が短期の場合や先進医療による療養を受けられた場合の費用もカバーできる、「入院総合保険“ＮＥＷ ｉｎ １”」を開発しました。

2 入院総合保険“NEW in 1”の商品内容

1．商品概要

「入院総合保険“ＮＥＷ　ｉｎ　１”」の主な特徴は以下のとおりです。

「入院総合保険 “NEW in 1”」の特徴

POINT 1

➢ 所定の入院をされた場合、**日帰り入院**[*3]から**入院給付金**を**一時金**で受取れます！[*4]

●受取金額のイメージ　（入院給付金額30万円の場合）

入院日数が１日・30日・60日・90日の各日数に達したときに一時金を受取れます！

30万円	30万円	30万円	30万円
▲1日目	▲30日目	▲60日目	▲90日目

例①
日帰り入院で胃ポリープの切除術を受けた
総受取額　30万円

例②
脳梗塞で90日間入院した
総受取額　120万円

➢ 入院を伴わない所定の手術（外来手術）を受けられた場合、外来手術給付金を受取れます！[*5]

➢ 入院給付金、外来手術給付金は診断書の代わりに領収証等の添付で請求できます！[*6]

POINT 2　＜先進医療給付あり型の場合＞

➢ 所定の先進医療による療養を受けられた場合、
先進医療にかかる**技術料と同額**の**先進医療給付金**を受取れます！

さらに交通費・宿泊費等、自由に使える**先進医療サポート給付金**も受取れます！

●受取金額のイメージ　（技術料300万円の先進医療による療養を受けられた場合）

先進医療給付金	＋	先進医療サポート給付金	＝	総受取額
300万円		20万円[*7]		320万円

*3 日帰り入院（入院日数が１日）とは、入院開始日と退院日が同一の日である場合をいいます。
*4 入院を２回以上した場合でも１回の入院とみなし、入院日数を合算することがあります。
*5 外来手術給付金は入院給付金額の 10%となります。
*6 所定の条件を満たす場合に限ります。
*7 先進医療サポート給付金の金額は「20 万円」か「先進医療にかかる技術料と同額」のいずれか小さい金額となります。

「入院総合保険“NEW in 1”」の被保険者様は、ベストドクターズ®・サービスをご利用いただけます！

ベストドクターズ®・サービス

ベストドクターズ社が治療やセカンドオピニオンの
取得に適した優秀な専門医を無料でご紹介します。

こんなときに使える！

- 主治医以外の意見も聞いてみたい
- 自分が納得できる治療法を知りたい

お電話・ご相談できる方

所定の保険にご加入の**被保険者様**

●Best Doctors®およびベストドクターズは米国およびその他の国における Best Doctors,Inc の商標です。●優秀な専門医とは、ベストドクターズ社が多数の医師に対して実施したアンケートをもとに選出した、医師が推薦する名医です。●治療費・セカンドオピニオンの取得にかかわる費用等はすべて利用者ご本人でご負担いただきます。

２．保障内容

被保険者が保険期間中に次の支払事由に該当した場合、給付金をお支払いします。

	支払事由	支払額	支払限度	受取人
入院給付金	所定の入院で入院日数が１日、30 日、60 日、90 日の各日数に達したとき	入院給付金額	100 回	被保険者
外来手術給付金	入院を伴わない所定の手術（外来手術）を受けたとき	入院給付金額 ×10%	30 回	
先進医療給付金	所定の先進医療による療養を受けたとき	先進医療にかかる技術料と同額	通算 2,000 万円	
先進医療サポート給付金	先進医療給付金が支払われるとき	20 万円 (ただし、先進医療にかかる技術料と同額が上限)	一連の先進医療による療養について１回限り	

●所定の入院であっても、免責事由に該当する入院の日数は入院日数の算定対象には含みません。
●骨髄幹細胞の採取のための入院・外来手術は、責任開始日から１年経過後の入院・外来手術についてお支払いします。
●入院給付金、外来手術給付金および先進医療給付金のいずれも支払限度に達したときは、入院総合保険は消滅します。

３．保険料例

【設例】 入院給付金額：30 万円 先進医療給付あり型 保険料払込方法：月払・口座振替扱 保険料払込期間：10 年
保険料払込免除特約：付加なし

契約年齢	保険料	
	男性	女性
30 歳	3,244 円	4,175 円
40 歳	4,157 円	4,028 円
50 歳	6,340 円	4,940 円

４．主な取扱条件

契約年齢範囲	3 歳～74 歳
保険期間	5 年～終身
保険料払込期間	全期払・短期払
保険料払込回数	月払・年払
解約払戻金	なし※保険期間終身の場合、保険料払込期間経過後は入院給付金額
付加可能な給付特約	保険料払込免除特約

※当資料は商品・制度・サービスの概要を説明したものです。
※詳しいご検討にあたっては、「パンフレット」「提案書」「ご契約のしおりー定款・約款」等を必ずご確認ください。

以　上